

經 濟 課

# 商 工 係

## 1. 商 工 振 興

福生市の商業は、周辺市町村を含めた広域的な商業中心地としての特質を維持し、さらに前進しつつあるが、大型店の進出、整備された先進商業都市との競合関係は一層激化している。

一方、工業は経営と生活が混在する小規模な零細企業が多く、一般的にレベルも低い。

商工振興に対する各種業務は商工会と一体となり、実施したが、年度後半から石油危機に端を発した金融引締め等により、制度資金（中小企業振興資金）の利用者が昨年に比較して多かった。

### (1) 中小企業振興資金

市内商工業者の資金需要の繁忙に応じるため、市内特定金融機関からその事業資金の融資を受けやすくし、企業の振興に資する制度で、市内特定金融機関に2000万円の資金を預託し、これをもとに金融機関が預託金の5倍までの金額1億円を限度として融資できる。

#### ア. 預託金融機関

埼玉銀行福生支店 三和銀行福生支店 西武信用金庫福生支店

青梅信用金庫福生支店 振興信用組合福生支店 福生市農業協同組合

の6金融機関

#### イ. 預 託 金

金 融 機 関 名	預 託 金	限 度 額
埼 玉 銀 行 福 生 支 店	3,600千円	18,000千円
三 和 銀 行        "	1,000 追加 1,000	10,000
西武信用金庫       "	4,400	22,000
青梅信用金庫       "	1,000	5,000
振興信用組合       "	3,100	15,500
福生市農業協同組合	1,900	9,500

※ なお、三和銀行については、需要が多く100万円を追加預託した。

ウ. 申込件数、金額並びに決定件数、金額

	申 込 件 数	金 額	決 定 件 数	金 額
運 転 資 金	29 件	2,740万円	26 件	2,390万円
設 備 資 金	5	1,000	5	1,000
計	34	3,740	31	3,390

※ 申し込みの内、本人の取下げ1件（100万円）、保証人の辞退1件（100万円）  
 審査会決定不貸付1件（100万円）、減額1件（100万円→50万円）があった。  
 なお、融資審査会については、審査会を37回開催した。

エ. 金融機関別貸付内訳

金 融 機 関 名	貸 付 件 数	貸付決定額	内 訳			
			運 転		設 備	
			件数	金 額	件数	金 額
埼玉銀行福生支店	2件	300万円	1	100万円	1	200万円
三和銀行 //	6	600	6	600	0	—
西武信用金庫 //	11	1,220	9	820	2	400
青梅信用金庫 //	2	200	2	200	0	—
振興信用組合 //	7	750	6	550	1	200
福生市農業協同組合	3	320	2	120	1	200
計	31	3,390	26	2,390	5	1,000

オ. 金融機関別融資状況及び運用残高表（昭和46年度～48年度）

49. 3. 31現在

金融機関名	昭和46年度			昭和47年度		昭和48年度		総 額		
	資金別	件数	融 資 額	件数	融 資 額	件数	融 資 額	件数	融 資 額	運用残高
埼玉銀行	運 転	10	千円 4,750	6	千円 4,600	1	千円 1,000	17	千円 10,350	千円 1,428
福生支店	設 備	5	2,500	1	1,500	1	2,000	7	6,000	3,633
三和銀行	運 転					6	6,000	6	6,000	5,439
福生支店	設 備					0	—	—	—	—
西武信用金庫	運 転	14	5,800	7	5,200	16	13,400	37	24,400	6,485
福生支店	設 備	5	3,800	4	2,200	6	6,200	15	12,200	3,756
青梅信用金庫	運 転					2	2,000	2	2,000	1,880
福生支店	設 備					0	—	—	—	—
振興信用組合	運 転	2	900	4	4,000	10	9,500	16	14,400	5,676
福生支店	設 備	3	2,840	2	1,300	3	3,300	8	7,440	2,937.5
福生市農業	運 転	7	2,600	4	2,500	6	3,700	17	8,800	1,522
協 同 組 合	設 備	0	—	0	—	1	2,000	1	2,000	1,790
計	運 転	33	14,050	21	16,300	41	35,600	95	65,950	22,430
	設 備	13	9,140	7	5,000	11	13,500	31	27,640	12,116.5

(2) 商工団体育成並びに実施状況

福生市商工会（会員数831人）が実施する商工振興事業等に対し、商工会補助金算定基準に基づき、商工会管理及び一般振興事業、経営指導員及び補助員の行う経営改善普及事業に要する人件費として4,908,000円を、一般事業費として300,000円合計5,208,000円を補助した。

なお、商工会事業として経営指導員による巡回及び窓口指導を521件、講習会等の開催により集団、個別指導を28件、その他金融のあっせん178件をはじめ、税務、経理相談、研修会等……総合振興事業として優良従業員の表彰、商工会決算検定の実施等、また商店の近代化並びに大型店の進出による対策、研究、先進地の視察、福利厚生事業、広報活動事業、青年部活動等数多くの事業が実施された。

(3) 商店コンクール

大型店の進出に伴い、市内商業者の環境は厳しい状態にあるため、経営状況、店舗施設並びに販売状況、接客状況等の審査を通して商店の近代化、消費者に親しまれる商店街づくりを図るよう、実施要綱に基づき商店コンクールを実施した。

実施月日 昭和48年9月26日(水)  
参加店舗 9店舗  
審査員 学識経験者(中小企業診断士)

審査結果はつぎのとおり。

最優秀賞	1	店舗
優秀賞	2	〃
優良賞	5	〃
努力賞	1	〃

## 2. 七夕まつり

商業振興の一環として行っている福生七夕まつりは、一大観光行事となり、本年度で第23回目を数え、8月4日から7日までの4日間盛大に開催したが、初日は降雨のため中止された（ただし、山車、みこしパレードは決行）。中止の決定については、8月4日午後から市役所会議室に企画委員会を開催し、協議の結果中止と決定した。

また、観光客においては、都内をはじめ近県から50～60万人の人出で賑わった。

なお、行事内容等は、つぎのとおり。

### (1) 飾り付コンクールについて

コンクール参加店舗数

	第 1 地 区 (中央商栄会)	第 2 地 区 (その他の地域)	合 計
竹 飾 り の 部	43	20	63
壁 面 飾 り の 部	15	2	17
合 計	58	22	80

※ なお、七夕飾り付店舗数は、291店であった。

### (2) アトラクションについて

月 日	催 し も の
8 月 4 日 (土)	山車&おみこしパレード
8 月 5 日 (日)	ミス七夕移動撮影会、民音、富士吹奏楽団、同鼓笛隊パレード、 ミス東京パレード、ひょっとこ踊り瑞穂パレード、素人のど自慢大会 七夕飾り付コンクール、郷土芸能おはやし会
8 月 6 日 (月)	七夕飾り付コンクール表彰式、自衛隊音楽隊パレード、米第5空軍音 楽隊、ボーイスカウト、ガールスカウト パレード 福生民謡パレード、お笑いステージ、郷土芸能おはやし会
8 月 7 日 (火)	佼成グループ鼓笛隊パレード、秩父音頭流しおどり、 日本舞踊と民謡おどり、盆踊り大会

(3) 交通規制について 従来どおりとした。

(4) 露店出店について

出店数180店余で、栄通りの片側（東側）と消防署前（西側）と第一小学校付近（両側）とした。

(5) 駐車場について

牛浜グラウンド、第四小学校々庭、福生駅東口（金樹石油横）、福生高校前の4か所に臨時駐車場を設け、その他に道路の片側を駐車可（栄通り、柳通り、福生高校横通りの一部）とした。

(6) 警戒、警備について

警察署（商協事務所）機動隊（埼銀3階ホール）交通安全協会（市役所地下会議室）に本部を設置した。

(7) 消防警戒について

消防署（消防署庁舎内）、消防団（市役所前）に本部を設置した。

(8) 輸送対策について

国鉄においては、青梅線の臨時電車の増発、増車をし、臨時改札口を設けた。また、バスは羽村瑞穂方面は東口の柳通り付近、青梅、五日市立川方面は新橋付近に臨時乗車場を設置した。なお、タクシーもバス同様東口柳通りと新橋付近に臨時乗車場を設置した。

(9) 案内所及び仮設便所について

案内所は駅前広場に、迷子案内所を埼銀前に設置した。また、仮設便所は福生駅前、第一小学校、市役所横の3か所（計6基）に設置した。

(10) 写真コンクールについて

白黒の部	209点	}	計433点の作品応募があった。
カラーの部	224点		

(11) その他

① セタまつり実行委員会本部を商工会事務所に設置した。

② 福生警察署による各種取扱い件数

迷子	49人	捨得物	9件	遺失物	1件	少年補導	25人
その他火災（トランス）		1件					

### 3. 統 計

#### (1) 商業実態基本調査

調査周期は不定期で3調査区により、商業を対象に名称、経営組織、資本金、従業員数、商品販売額等、商業の経営実態について7月1日現在で調査した。

#### (2) 住宅統計調査

5年に1度実施される調査で、15調査区により住宅及びそれに居住している世帯について10月1日現在で調査した。

#### (3) 工業統計調査

毎年実施される調査で、8調査区により製造業を対象に名称、経営組織、資本金、従業員数、月別労働者数、給与総額、製造品目等について12月31日現在で調査した。（調査結果表はつぎのとおり）



昭和48年工業統計調査結果（概数）

48. 12. 31現在  
（単位 万円）

		従業員 19人以下	従業員 20人以上	総 数
工 場 数		88	28	116
従業者数	総 数(人)	511	1,682	2,193
	常用従業者(人)	396	1,682	2,078
	個人事業主及び 家族従業者(人)	115		115
現金給与総額 (万円)		46,584	214,783	261,367
原材料使用額 (万円)		90,859	161,480	252,339
製造品在庫額等	製 造 品 (万円)	年 初	52,522	52,522
		年 末	56,699	56,699
	原 材 料 及 び 燃 料 (万円)	年 初	21,895	21,895
		年 末	48,329	48,329
	半 製 品 及 び 仕 掛 品 (万円)	年 初	14,321	14,321
		年 末	23,421	23,421
有形固定資産	年初現在額 (万円)		292,418	312,444
	取 得 額 (万円)		32,270	38,127
	除 却 額 (万円)		2,979	2,979
	減価償却額 (万円)		33,581	36,345
製造品出荷額	総 数 (万円)		1,393,463	1,596,573
	製 造 品 出 荷 額		1,327,682	1,482,090
	加 工 賃 収 入 額		64,814	113,316
	修 理 料 収 入 額		967	1,167
内国消費税額		3,615		3,615

#### 4. 観光その他

##### (1) NHKのど自慢について

###### ア. 日、時、場所

昭和48年12月9日(日) 午前11時30分開場

福生市民体育館

※ なお、テレビ放映は昭和49年1月6日(日) 午後12時15分から行われた。

###### イ. 出演者

山本リンド ガロ

###### ウ. 出場者

25人 (なお応募者は639人)

###### エ. 観覧者

2,576人

###### オ. 広報

(ア) 11月15日発行の広報ふっさに公開録画、入場券の配付、出場者の募集等について掲載

(イ) ポスターによる広報

11月上旬、NHKで印刷し、150～200枚を市内及び隣接市町村並びに事業所へ配付した。

(ウ) 出場者に対する広報

受付窓口はNHKのど自慢係か、市役所経済課商工係とし、11月26日(月)必着分まで受付た。

(エ) 入場者に対する広報

入場整理券を3,400枚発行(内400枚はNHKで配付)

配布日時 12月2日(日) 午前9時から

配布場所 市内各小学校(1小～6小)

###### カ. その他

関係団体に対する協力依頼

福生警察署 24人

福生消防署 14人

交通安全協会 15人

# 消費生活係

## 消費者行政

### 1. 消費者意識の啓発

消費者保護行政が十分効果をあげるためには、一般消費者のみなさんに消費者保護施策の内容をよく理解していただき、これに協力していただくことが必要であり、このことが消費生活の向上にもつながります。

そこで市では、消費者意識の高揚と、知識を深めるため消費生活に関する「消費者のために」のパンフレットの発行、消費生活関係資料の展示、ボックスでの配布、市広報「消費者欄」への掲載、年間を通じ消費者講演会、施設見学会、商業者との懇談会等を行った。また、今年度は石油危機を契機とした物価の高騰、物不足等により市民生活が混乱を起した。そのためいち早く市長を本部長とする福生市市民生活安定対策本部を設置し、市民生活安定のため広報号外発行その他による情報の提供、街頭での消費者相談、商業者へ適正価格販売の要請等を行った。

### 2. 消費者相談

消費者が日常生活における商品及びサービスの取引に伴い発生する苦情をすみやかに処理するため、経済課に消費者相談窓口を開設し、消費者からの苦情相談等を実施した。特に本年度は、物価の高騰、物不足問題等により相談件数も50数件に達した。

### 3. 計量器検査

計量器は、消費者が上手な買物をし、合理的な家庭生活を営むうえで重要な役割をはたしている。

そこで市では、東京都計量検定所及び東京都計量協会により事業所用計量器定期検査並びに家庭用計量器の無料検査及び修理を行った。

#### 事業所用計量器定期検査

	検査数	合格	不良	不良率
計量器	683	661	22	3.2%

#### 家庭用計量器の無料検査

	検査数	合格	不良	不良率
計量器	577	535	42	7.3%

#### 4. 消費生活モニター

この消費生活モニター制度は、消費者が消費生活上最も関心をもっている物価の問題や、消費者行政に対する意見、要望、苦情等を広く市内の婦人層から集め、これを行政に反映させるために設けられました。そして48年度には18人の方々にモニターとして市が行ったアンケート、小売物価統計、その他講演会等に参加していただき、貴重なお意見をいただき、当初の成績をあげることができた。

#### 5. 家庭菜園

消費者行政の一環として、市民が自からの手で野菜を作り、価格形成の研究と、健全な余暇利用を図ることを目的として、一世帯あたり10平方メートルの農地を2年間無料で抽せんにより貸出した。

菜園名	住所	面積	区画数	申込人員	倍率
熊川東家庭菜園	熊川247,412	1,980m <sup>2</sup>	140	183	1.30
加美平 //	福生1,518	1,064	80	270	3.38

# 農 務 係

## 1. 農業振興

### (1) 農業振興関係

都市化の波の中で、福生市の市街化区域内農業者のうち、毎年数戸が他に転業してゆく中で、まだ、自給自足を心掛けている農家もかなり存在し、これらの農業者との調査連絡や経営指導にあたるとともに、農作物及び緑樹の害虫駆除消毒（アメリカシロヒトリ）や家畜類の各種予防注射を実施した。

また、緑化推進事業として昭和48年度から市の緑地保全要綱に基づき、多数の緑地指定地を設けた。そして昭和47年度から実施している出生児に対する記念樹（市の木）もくせいの配布と、公共施設に対する植樹や、市民からの不用樹木の無償譲り受けを実施し、緑化推進及び緑化保全について、力を入れ、これを実施した。

ア. 農耕地、農家戸数調査（ただし、昭和47年度調査）

農 耕 地 調 査		農 家 数 調 査	
区 分	地 積 a	区 分 a	戸 数
田 ・ 畑	8,161	30 以下	210
樹 園 地	585	31～50	68
茶 園	189	51～100	59
桑 園	655	100 以上	9
計	9,590	計	346

イ. 経営者等調査（ただし、昭和47年度調査）

区 分	頭 羽 数	戸 数
ソ 菜 経 営 者	—————	8
養 蚕 経 営 者	—————	10
植 木 生 産 経 営 者	—————	40
乳 牛 飼 育 者	65 頭	9
養 豚 飼 育 者	53 //	25
養 鶏 飼 育 者	600 羽	24

ウ。緑化推進関係

区 分	内 訳	本 数
出生記念樹配付 48. 4～49. 3	6 4 8 人	6 4 8 本
公 共 施 設 植 樹	も く せ い	4 6
	つ つ じ	2 0 0
	シイノキ その他	1 1 7
不用樹木の譲り受け	イ チ ョ ウ	4
	杉 そ の 他	1 4

区 分	内 訳	面 積
緑 地 保 全 事 業	A 農 地	2,810.68m <sup>2</sup> (3筆)
	平 地 林	46,929m <sup>2</sup> (35筆)

エ。アメリカシロヒトリ防除実績

区 分	内 訳	備 考
防 除 期 間	6 月～9 月	4 か 月 間
" 本 数	1 7,5 0 0 本	サクラ、プラタナス他
" 薬 剤	1 2 0 ℓ	DEP、DDVP
" 人 員	(延) 3 0 3 人	